

<b>科目名</b>	音楽科学	<b>形態</b>	講義	<b>開講期</b>	秋学期
<b>担当教員</b>	松波 匠太郎	<b>単位</b>	2	<b>年次</b>	1

### ＝授業科目の目標＝

近現代の西洋芸術音楽の歴史を概観し、アートとテクノロジーの関係について考察する。芸術と科学、双方の視点を通じ、音楽の現状を理解することを目標とする。

### ＝履修の条件と学習の方法＝

伝統音楽からポップス、種々BGMまで幅広く鑑賞します。授業で紹介した作品やサウンドは、復習として各自聴いてみるのが望ましい。

### ＝授業内容＝

1. ガイダンス、印象派までの音楽史概説
2. 現代までの音楽的テキストの変遷とイズムの諸相
3. 音波の基本的性質、音楽における音響
4. 電気楽器、電子楽器
5. ミュージックシンセサイザーについて
6. 音楽による感情と場の表現（1）——いくつかの性格的小品を例に
7. 音楽による感情と場の表現（2）——印象主義と表現主義
8. サウンドデザイン、空間オーディオ（1）——DTMとプログラミング言語
9. サウンドデザイン、空間オーディオ（2）——ポップスとゲーム音楽
10. シュトックハウゼンと電子音楽
11. コンピューター・ミュージック、ミュージック・コンクレート
12. 黛敏郎のキャンパノロジーとスペクトル学派
13. ブーレーズとライブ・エレクトロニクス
14. アルゴリズム作曲、脳波音楽
15. 総括

### ＝成績評価の方法と評価の基準＝

出席状況と、レポートによる評価。

### ＝テキスト（必携）＝

特になし。